

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）
フューチャーライフエクスペリエンス
&「TEAM EXPOパビリオン」
会場概要について

（公社）2025年日本国際博覧会協会
2024年4月22日

フューチャーライフ
エクスペリエンス
&
「TEAM EXPOパビリオン」
のイメージ



外観イメージ



提供: KOMPAS JAPAN 株式会社一級建築士事務所

※ 現在設計中であり今後変更になる可能性があります

会場レイアウトイメージ

参加テーマに合わせて選べる多様な展示スペースとステージでの参加が可能



未来社会ショーケース事業における フューチャーライフエクスペリエンス & 「TEAM EXPOパビリオン」

「未来の食、未来の文化、未来のヘルスケア、未来への行動」などが体験できるエリア」をコンセプトとして、
中小企業、スタートアップ企業、教育機関等の多様な主体が参画し、未来に向けた「問い」と「提案」が集まる場所として構成されるエリアです。

<p>スマート モビリティ 万博</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会場アクセスバス・アクセス船 ・会場内・外周バス ・会場内パーソナルモビリティ ・ロボット(会場サービス) ・空飛ぶクルマ <p>等</p>	<p>アート 万博</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォータープラザ水上ショー ・静けさの森インスタレーション ・プロジェクションマッピング ・パブリックアート ・パレード <p>等</p>
<p>デジタル 万博</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者向けパーソナルエージェント、XR案内 ・自動翻訳システム ・オールフォトニクス・ネットワーク ・無線LAN環境・ローミング基盤 ・EXPO VISION ・プロジェクションシステム <p>等</p>	<p>グリーン 万博</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・DAC、メタネーション ・水素サプライチェーンモデル ・水素発電、純水素型燃料電池、アンモニア発電 ・CO2吸収路面素材、CO2回収装置 ・次世代太陽電池、エネルギーマネジメントシステム ・帯水層蓄熱、緑化 <p>等</p>
<p>バーチャル 万博</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バーチャル会場 ・XR演出 ・EXPO共創事業 <p>等</p>	<p>フューチャー ライフ万博</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・未来の都市、住宅、環境、交通、農業 ・未来の暮らし(食・文化・ヘルスケア) 「フューチャーライフエクスペリエンス」 ・未来への行動(「TEAM EXPO 2025」、ベストプラクティス) 「TEAM EXPOパビリオン」 <p>等</p>

未来の暮らし:フューチャーライフエクスペリエンスについて

■コンセプト

「未来の食」「未来の文化」「未来のヘルスケア」など、
「未来の暮らし」に関わる問いや提案を持ち寄り発信・共創する場

未来の
食

例:調理・加工領域から原料生産まで、様々な食の分野でテクノロジーや、スマート技術を活用した取組みなど

未来の
文化

例:より良い未来を作るための、様々な行動様式や暮らし方など

未来の
ヘルスケア

例:PHRをはじめとするデータや、AIやデジタルデバイスなど新技術を活用し進化した、未来の医療や健康増進サービスなど

■展示方針

「未来の暮らし」の展示を来場者への情報提供にとどめず、体験型などの動態展示を通じて、印象に残る楽しい事業を目指す。

“体験提供”を通じて
未来社会のデザインを提案

インタラクティブ性のある“動態展示”で
印象に残る楽しい展示・体験を

未来社会にむけた提案が集まる
会場自体も“共創”の場・きっかけに

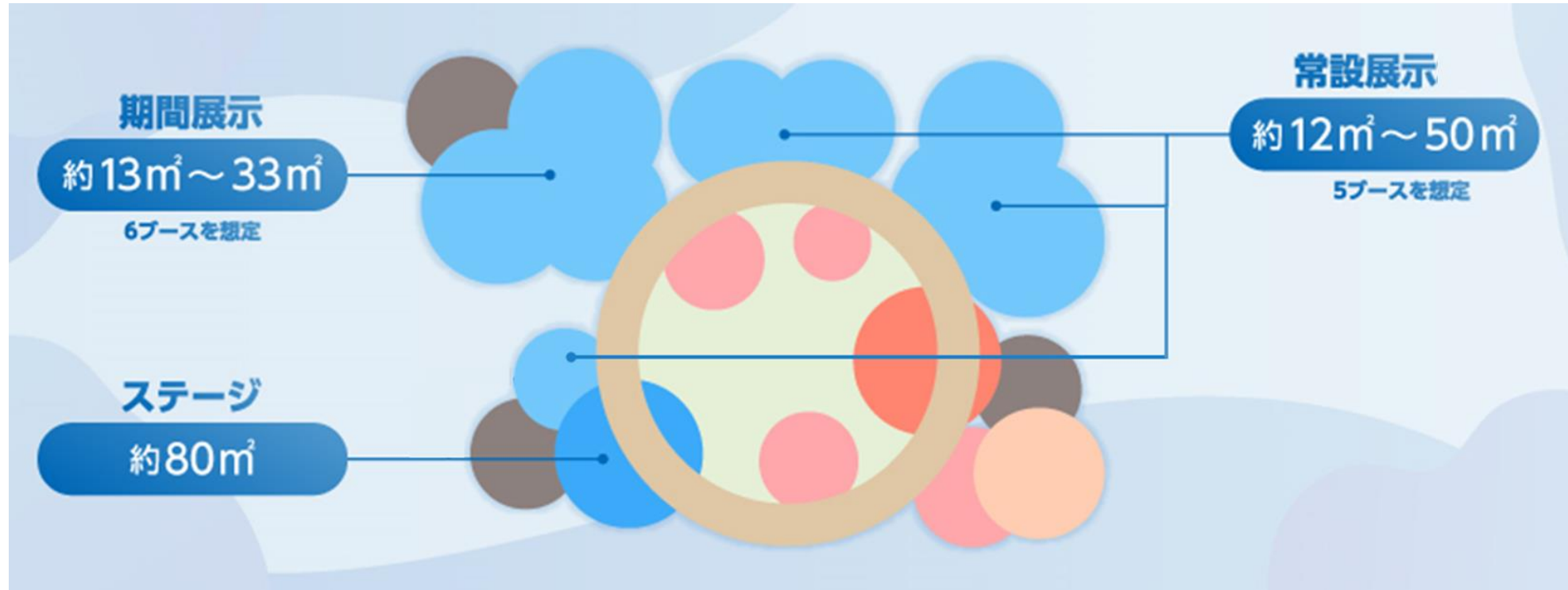
タイムシェアード型の入替展示・ステージで
多数の参加を前提に設計

未来の暮らしに関わる提言を発信する
企業(中小・スタートアップ含む)、研究機関、自治体、NGO&NPO法人など
さまざまな企業・団体からの参加をお持ちしております。

	全期間を通じた体験展示(協賛) 常設展示	1週間の体験展示 期間展示	ステージでの発表 ステージ
枠数	約5枠	約90枠	約650枠 (1日に5枠)
期間	【常設】 26週間	【入替制】 1週間~	【入替制】 2時間・1日・5日
費用	286万円 / m ² 通期(26週間)	11万円 / m ² 1週間	66万円 / 2時間 330万円 / 1日 1,650万円 / 5日
特典	ステージ4枠	ステージ1枠	

※費用は税込み表示

■ 会場面積



「TEAM EXPOパビリオン」について

つながる万博

- 参加型万博実践の場 -

「つながる万博」の実現に向け、テーマウィークのテーマに即した会場参加を募集
参加者の成果の発表・報告だけではなく、他の参加者や来場者との「対話」による
未来社会を共創する参加型万博実践の場を目指します

会場参加者と来場者の「対話」を生み未来社会を「共創」するための場に

会期前からの取り組みを通じ継続的な活動につなげる

日々の入替展示・ステージで多数の参加を実現

来場者の参加、未来への提案を創出

<募集テーマ>

下記のテーマウィークにおけるテーマ領域をベースに日々違うテーマで参加いただきます。

地球の未来と生物多様性

健康とウェルビーイング

平和と人権

食と暮らしの未来

学びと遊び

未来への文化共創

未来のコミュニティとモビリティ

SDGs + Beyond
いのち輝く未来社会

「TEAM EXPOパビリオン」への参加方法について

「TEAM EXPO 2025」プログラム参加者を対象とした参加方法となります

	ステージ発表&展示 (共創チャレンジ)	ステージ利用 (共創チャレンジ)	ブース展示 (共創チャレンジ)	ステージ発表&展示 (共創パートナー)
期間	[ステージ]30分 [展示]1日	1.5時間/枠	2~6ブース 1日/3日/7日	2時間+1日展示 内)招待3組1.5時間+自社枠0.5時間
費用	22万円	33万円/枠	11万円×ブース×日	88万円~

※費用は税込み表示

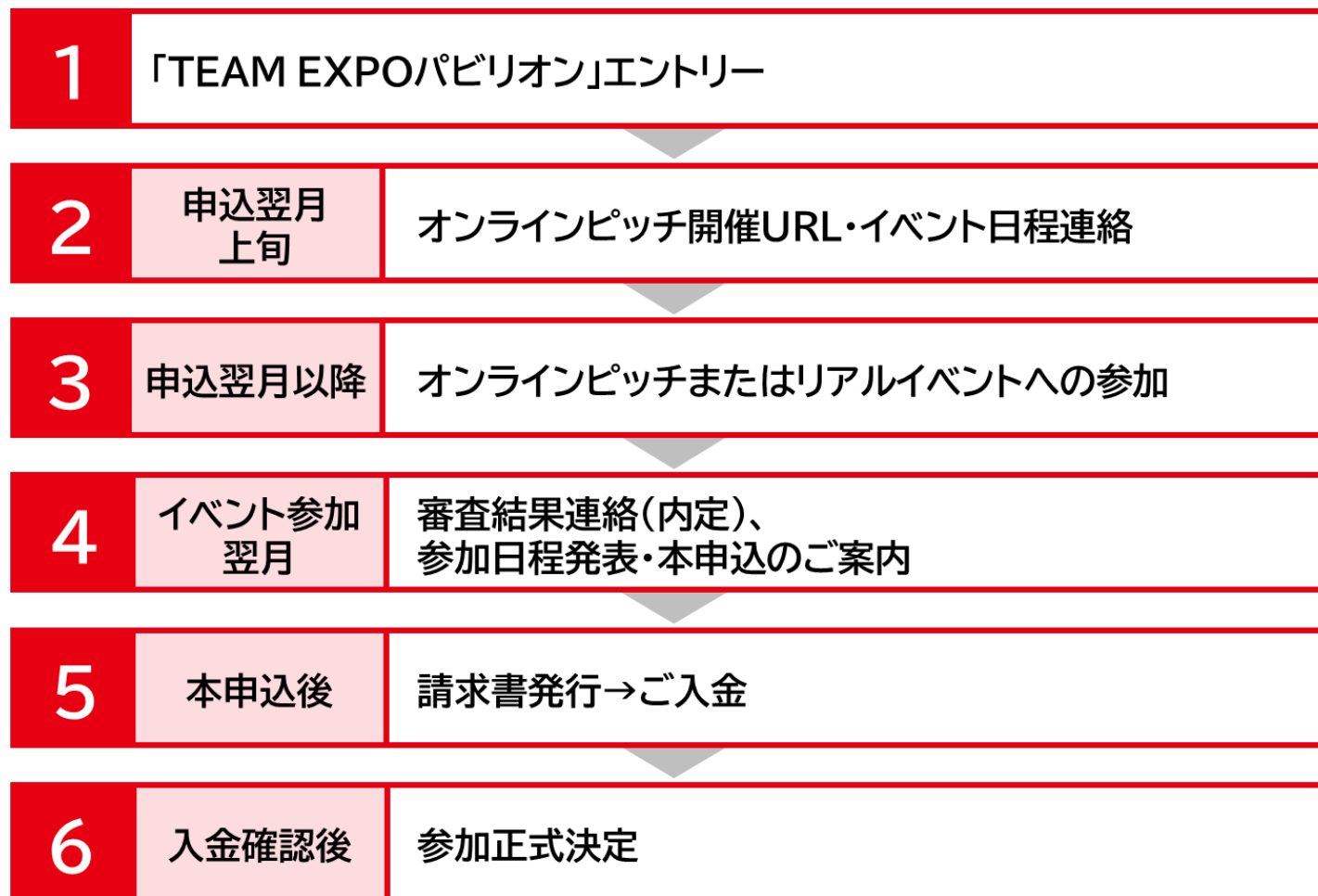
「TEAM EXPOパビリオン」参加にあたっては企画書の提出とともに指定するイベントへの参加が必須となります。また、テーマウィーク(トラック4)の実施および「TEAM EXPOパビリオン」全館貸切に向けた企画・提案をあわせて募集しています(共創パートナー対象)。ご希望の方は、事務局までお問い合わせください。

「TEAM EXPOパビリオン」への参加方法について

「TEAM EXPOパビリオン」参加にあたっては
企画書の提出とともに指定するイベントへの参加が必須となります。



「TEAM EXPOパビリオン」参加決定までのフロー



参加申し込み例

5月	エントリー
6月上旬	オンラインピッチ開催URL連絡
6月中旬	オンラインピッチ参加
7月	審査結果連絡(内定)
7月～	本申込・入金
7月～	参加正式決定

共創チャレンジ 会場参加プラン①

ステージ発表&展示 22万円(税込)

ブース展示:1日 (当日の搬出入)
※展示台は1.0×1.0×1.5m程度を想定



ステージ発表 30分 (入れ替え含む)
※ステージは観客席一体型で約70㎡



※実施イメージを沸かせるためのものであることから大幅に変更となる可能性があります。

共創チャレンジ 会場参加プラン②

ステージ利用 33万円/枠(税込)

ステージ利用 1.5時間 (入れ替え含む)

※最大4枠まで連続枠申し込み可



※実施イメージを沸かせるためのものであることから
大幅に変更となる可能性があります。

《出展イメージ》多岐にわたる共創チャレンジへの発表の場

- ・芸能・文化などに取り組んでいる共創チャレンジ
→和太鼓、ダンス…等
- ・オープンファクトリー
- ・複数のチャレンジでの共同発表

…等

共創チャレンジ 会場参加プラン③

ブース展示 11万円×ブース×日(税込)

ブース展示:1日 (当日の搬出入)

※1ブースあたり約5㎡



※実施イメージを沸かせるためのものであることから大幅に変更となる可能性があります。

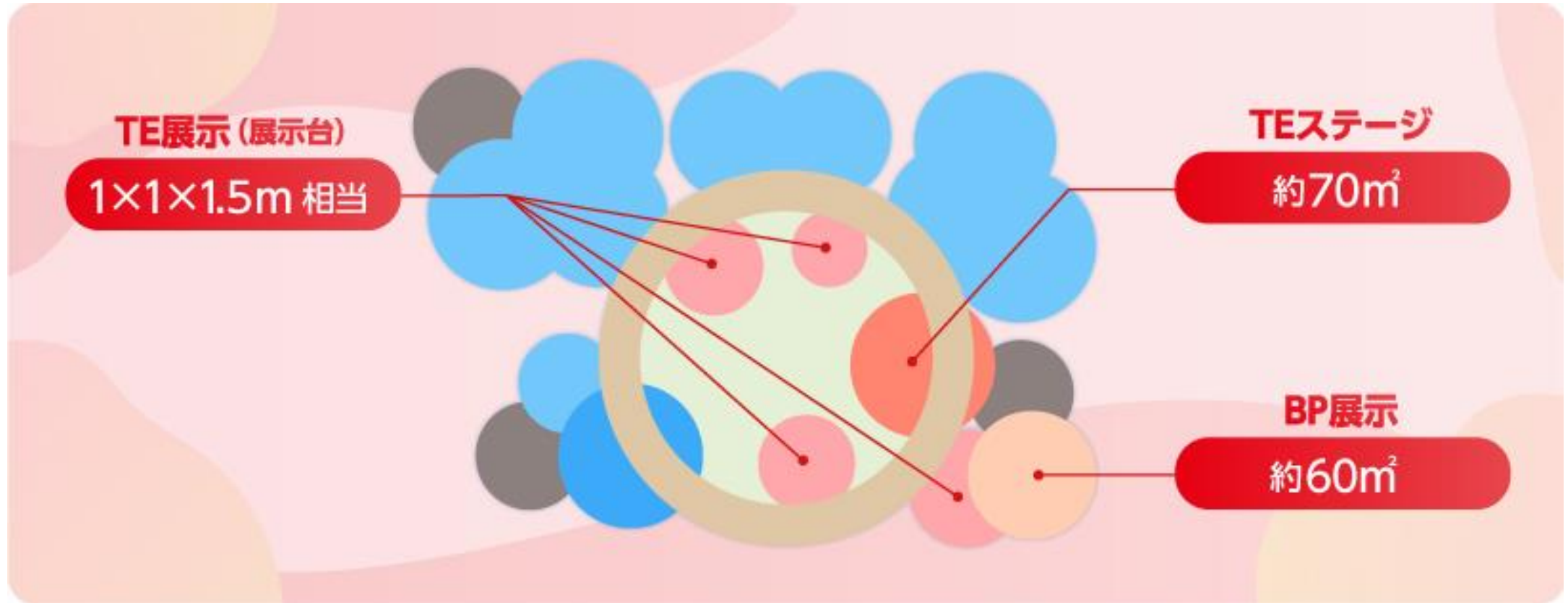
「ステージ&展示」で設定している展示台複数分のスペースを利用した展示が行えます。

展示台については、1ブース分の展示台の利用だけでなく、それぞれのスペースに合わせた展示台の利用も可能です。

※ 展示台は協会にて準備させていただきます。
会場参加者が持ち込む場合は、お申し出ください。

	1日	3日	7日
2ブース 約10㎡相当	22万	66万	154万
3ブース 約15㎡相当	33万	99万	231万
4ブース(一棟貸切) 約20㎡相当	44万	132万	308万
6ブース(一棟貸切) 約30㎡相当	66万	198万	462万

「TEAM EXPOパビリオン」会場面積等について



※TE:「TEAM EXPO 2025」プログラム
※BP:ベストプラクティス